

名取市閑上地区まちなか再生計画の概要について①

- 宮城県名取市から申請があった閑上地区「まちなか再生計画」について、平成30年1月30日付け認定。
- 認定後、まちづくり会社が商業施設等復興整備補助金を活用し、共同店舗型商業施設「かわまちてらす閑上」を整備。
- 商業施設については、地域住民のニーズに応えつつ、観光需要を取り込む小売店・飲食店等が出店予定（平成31年3月開業予定）。

●スキームの流れ

①まちなか再生計画の認定
(復興庁・外部評価委員会)

②商業施設等復興整備補助金の交付(中小企業庁)

③商業施設の建築・テナントの入居

④商業施設の運営

●名取市まちなか再生計画のポイント

1. 土地利用計画

○震災からの復興を目指す新しいまちづくりとして、閑上地区の被災市街地復興土地区画整理事業区域一帯と、水辺のあるまちの特徴を活かすため国土交通省が進めている「かわまちづくり計画」の一部を計画区域に設定(計画区域:約56.7ha)。

2. 公共施設等配置計画

○計画区域に公民館や医療・福祉施設を集積するほか、小中一貫校、消防署等の公的施設を配置。

3. 動線計画・駐車場整備計画

- 自動車による来訪動線は、県道塩釜亘理線と閑上港線を主軸とする。
- 歩行者・自転車による来訪動線は、計画区域を東西に貫く緑道を軸としつつ、堤防上の道路等も活用し、ゆりあげ港朝市等との回遊性を高める。
- 名取市が商業施設の駐車場として約90台分整備するほか、混雑時は500m東に整備予定の河川防災ステーションの駐車場約200台分が利用可能。

4. 商業施設整備計画

- 商業施設は、名取川の堤防の上下に配置。仙台方面からの観光客が施設を見つけ、立ち寄りやすくするとともに、水辺の憩いの場として整備。
- 堤防上には、眺望を楽しむスペース等を確保し、季節に応じたイベントの開催等により、変化のある空間を提供。
- 商業施設は、まちづくり会社が建物を所有し、個々のテナントに賃貸(賃料は共益費込みで4,800円～5,800円/月・坪)。
- 建築面積約1,425㎡(うち店舗面積約947㎡)、鉄骨造平屋。整備費は約3.0億円。
- 入居テナント:小売店、飲食店等22店舗を予定。(その他、5店の個別店舗がグループ補助金を活用して整備される予定。)

5. 事業実施体制

- 出店者、市、観光物産協会等が出資・設立した、まちづくり会社(株式会社かわまちてらす閑上)が整備・運営。



名取市関上地区まちなか再生計画の概要について②

位置図



区域図



土地利用計画・街路整備・施設配置計画図



商業施設イメージ

